

令和6年度行政評価 施策評価票

主管部局・課 教育委員会・生涯学習総合センター

政策目標1 未来につなぐひとづくり/政策2 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野5 生涯学習

目指す姿		
誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いているまち		
施策		
施策番号	名称 施策の内容	関連するSDGs17のゴール
施策1	生涯学習活動の支援	
	知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。	
施策2	読書活動の推進	
	図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。	
施策3	地域における社会教育の推進	
	各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。	

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況					
指標名				単位	説明又は計算式
1	公民館講座に参加している割合			%	公民館主催・共催講座の年間参加者／市の人口
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標
	目標	34.1	34.5	34.8	35.0
	実績	33.2	—	—	市民の学習ニーズに応じた講座の開設に努めたことで、前年度より参加者は増加したが、目標値には届かなかった。
2	図書館における市民100人あたりの貸出冊数			冊数	年間貸出総冊数／市の人口×100
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標
	目標	451	454	457	460
	実績	389	—	—	幅広い利用者層に向けた様々なテーマ展示を行い、貸出冊数の増加を目指したが、目標値には届かなかった。

2 施策の評価

施策 1	生涯学習活動の支援
今年度の重点方針 (方向性)	知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。
取組状況	【1】学習活動の支援・育成 ・高度化・多様化する市民の学習ニーズに応えるため、平成27年に策定した本市における目指すべき生涯学習のあり方を示した「会津若松市生涯学習推進ビジョン」や市総合計画等を基とした活動支援を行うとともに、高等教育機関や多様な機関・団体と連携して事業に取り組み、生涯学習ネットワークの強化を図ってきた。 ・生涯学習総合センターの窓口において、学習情報の提供や利用者が抱える様々な学習相談に努めてきた。また、ソーシャルメディアを活用した積極的な情報発信に努めてきた。 【2】地域コミュニティの活性化 ・地域活性化を図っていく上では、活動を主導する人材の育成が重要であるため、生涯学習支援者講座やコーディネーター研修会などを通じて、学びの成果を地域に還元できる人材の育成に努めた。 【3】生涯学習総合センター管理運営 ・施設設備について、計画的な管理のもと、維持管理経費の抑制と平準化を図ってきた。 ・公民館と図書館、ホール・ギャラリーを備えた複合施設の機能を活かすため、利用者の意見や要望なども踏まえ、より利用しやすく快適な学習環境を維持してきた。 ・脱炭素先行地域推進の観点から、照明のLED化、電気自動車の導入、太陽光発電パネルの設置を進めてきた。
課題認識と 今後の方針 ・改善点	【1】学習活動の支援・育成 ・今後、ますます高度化・多様化する市民の学習意欲に応えていくために、市民ニーズの的確な把握に努めながら、多様な機関・団体などとのネットワークをより一層強化していくことで、幅広い内容や年齢層に対応した魅力ある講座を実施していく。 また、ICTを活用した講座運営に取り組み、デジタル社会に対応した学習機会の提供に努めていく。 【2】地域コミュニティの活性化 ・公民館が地域コミュニティの拠点として、地域住民が主体的に地域課題を解決していく支援に努めるとともに、地域団体、学校などと連携し、学習活動や地域活動の場において地域人材の活用を促進するなど、地域コミュニティの活性化に努めていく。 【3】生涯学習総合センター管理運営 ・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立ち始めており、利用者の安心安全な利用に支障がないよう計画的に管理を行う必要がある。 ・公共施設保全計画により、定期的な点検や劣化部材の交換などのメンテナンスにより、適正な管理を行い、長寿命化を図るための措置が必要となる。

施策2	読書活動の推進
今年度の重点方針 (方向性)	図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。
取組状況	【1】図書資料等の充実 ・市民の要望に応えながら、図書資料等の購入や乳幼児から高齢者までを対象とした図書の整備に努めてきた。 ・平成29年度より雑誌スポンサー制度を開始し、民間活力の導入を図ってきた。令和6年5月末現在、7社14誌の提供を受けている。 【2】図書館サービスの提供 ・ＩＣタグに対応した図書館システムを導入し、5年ごとに図書館システムと機器を更新し、安定したサービスの提供を行っている。 ・郷土資料及び明治・大正・昭和の地元新聞のデジタルデータ、商用データベース等による情報の提供を行い、利用者へのサービス向上に努めている。 ・返却ポストを24時間利用可能にするともに、会津図書館の図書を地区公民館図書室で返却できるようにし、利用者の利便性向上を図っている。 ・読書が困難な方にも図書館を利用いただけるよう障がい者等サービスを行い、利便性の向上を図った。また、読書バリアフリー法に対応するために、電子図書館導入の動向を県内公共図書館等に確認を行った。 ・令和6年2月、一般図書フロアの郷土資料コーナーに「早乙女貢コーナー」を設置した。 ・令和4年2月から、会津図書館所蔵の貴重資料を会津若松市デジタルアーカイブで公開し、学校等への周知など図書館サービスの充実を図っている。令和6年度より早乙女貢文化振興基金を活用してコンテンツの充実を図り、令和6年5月末現在、古文書や絵図・地図、写真・絵葉書など644点を公開している。 【3】読書活動の整備・支援 ・学校図書館の活性化のため「学校図書館ボランティア養成講座」を実施し、ボランティアの養成を図るとともに、学校図書館支援員等と協働で学校図書館の整備に努めた。 ・移動図書館（あいづね号）の日曜運行の他、商業施設や福祉施設へ運行し図書を貸出することで、市民の利便性を図った。
課題認識と 今後の方針 ・改善点	【1】図書資料等の充実 ・市民の学習ニーズが多様化しており、それに応えるため新刊図書や視聴覚資料の購入、新聞・雑誌の購読継続に努めていく。 ・民間企業に対し、雑誌スポンサー制度の広報と協力を求め、提供する雑誌の増加を目指していく。 【2】図書館サービスの提供 ・市政だよりや「会津図書館だより」、ホームページ、SNS等により、図書館の様々なサービスについて広報を行い、図書館の利用促進を図っていく。 ・丁寧なレファレンス業務を遂行し、市民の知識の探求の場としての役割を高めていく。 ・読書バリアフリー法に対応した図書資料の提供及び障がい者等サービスの広報に努めるとともに、文字の拡大や音声読み上げ機能のある電子図書館の導入について、引き続き、研究していく必要がある。 ・早乙女貢文化振興基金を活用して会津若松市デジタルアーカイブのコンテンツの充実と、利用者の利便性を高めるとともに、学校の授業でも活用されるよう広報に努めていく。 【3】読書活動の整備・支援 ・学校図書館支援員等と連携し、学校図書館の蔵書管理や整理業務の支援を行い、活性化を図っていく。引き続き「学校図書館ボランティア養成講座」の開催及び会津図書館奉仕員による巡回訪問を行っていく。 ・移動図書館（あいづね号）の日曜運行、商業施設や福祉施設、また、小学校、会津支援学校・聴覚支援学校会津校への巡回を継続し、幅広い世代が利用しやすい環境を維持していく。

施策3 地域における社会教育の推進	
今年度の重点方針(方向性)	各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。
取組状況	【1】地域コミュニティの活性化 ・地区公民館では、地域の学習拠点として、地域住民が主体的となり、地域コミュニティの醸成や活性化につながるような地域活動の支援に努め、住民同士の交流のための環境づくりを図りながら、東公民館の「ひがしカフェ」、南公民館の「ふれあうよろずカフェ」、北公民館の「永和地区地域づくり協議会」、大戸公民館の「大戸まちづくり協議会」、河東公民館の「暮らしに役立つスマホ講座」、湊公民館の「よってカフェ」などを開催した。 【2】地区公民館の管理運営 ・地区公民館においては、利用者の利便性・快適性の提供に努めるとともに適切な施設管理を行ってきた。 ・令和5年度は、北公民館の耐震改修工事や南公民館の非常放送設備改修工事、一箕公民館のトイレ一部改修工事、湊公民館の屋根塗装等工事などを行い、安全・安心の観点からも利用者が利用しやすい施設の環境整備を行った。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】地域コミュニティの活性化 ・地域コミュニティを活性化させていくためには、地域住民の主体的な連携、協力が必要であり、それぞれの地区公民館において、地域の実情に応じた環境づくりに努めていく。 ・地区公民館においては、地域住民との協働による地域コミュニティの拠点としての役割も求められており、各地域の実情に応じて、地域の活性化に取り組んでいく。 【2】地区公民館の管理運営 ・地区公民館の多くは、築30年以上が経過しており、経年劣化による施設の破損や設備の故障に対し、一時的な経費の負担増が見込まれる。公民館の適切な維持管理を行うため、公共施設等総合管理計画や耐震診断結果等を踏まえ、計画的な保全・整備を行う必要がある。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名

4 施策の最終評価

- ・政策分野5「生涯学習」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。
- ・施策1「生涯学習活動の支援」については、ICTを活用した講座運営などを通じて、幅広い年齢層に対応した魅力ある講座を実施していく。
- ・施策2「読書活動の推進」については、読書バリアフリー法に対応した図書資料の提供などを通じ、生涯にわたる文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進していく。また、早乙女貢文化振興基金を活用して「会津若松市デジタルアーカイブ」のコンテンツの追加や充実を図り、貴重資料のデジタル化を推進し、利用者の利便性向上を図るとともに、学校の授業で活用されるよう広報に努めていく。
- ・施策3「地域における社会教育の推進」については、地区公民館の計画的な保全・整備を行いながら、地域住民との協働による地域コミュニティの拠点とし、引き続き、各地域の実情に応じた環境づくりに努め、地域の活性化に取り組んでいく。

5 事務事業一覧

番号	ロジック モデル	重点事 業	人口減 少対策 ※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年 度方 針	担当部・課
施策1 生涯学習活動の支援							
1		◎	基本目標4	4.1	生涯学習推進事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
2		◎	基本目標4	4.1	生涯学習総合センター管理運営費	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
3		◎		4.1	中央公民館神指分館事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
4				4.1	中央公民館神指分館管理運営事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
5			基本目標4	4.1	子どもの森維持管理事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
6				4.1	教育委員会表彰経費	継続	教育委員会 教育総務課
施策2 読書活動の推進							
1		◎	基本目標3	4.1	生涯学習情報提供事業	継続	教育委員会 生涯学習総合センター
施策3 地域における社会教育の推進							
1		◎	基本目標4	4.1	北公民館事業	継続	教育委員会 北公民館
2				4.1	北公民館管理運営事業	継続	教育委員会 北公民館
3		◎	基本目標4	4.1	南公民館事業	継続	教育委員会 南公民館
4				4.1	南公民館管理運営事業	継続	教育委員会 南公民館
5		◎	基本目標4	4.1	大戸公民館事業	継続	教育委員会 大戸公民館
6				4.1	大戸公民館管理運営事業	継続	教育委員会 大戸公民館
7		◎	基本目標4	4.1	一箕公民館事業	継続	教育委員会 一箕公民館
8				4.1	一箕公民館管理運営事業	継続	教育委員会 一箕公民館
9		◎	基本目標4	4.1	東公民館事業	継続	教育委員会 東公民館
10				4.1	東公民館管理運営事業	継続	教育委員会 東公民館
11		◎	基本目標4	4.1	湊公民館事業	継続	教育委員会 湊公民館
12				4.1	湊公民館管理運営事業	継続	教育委員会 湊公民館
13		◎	基本目標4	4.1	北会津公民館事業	継続	教育委員会 北会津公民館
14				4.1	北会津公民館管理運営事業	継続	教育委員会 北会津公民館
15		◎	基本目標4	4.1	河東公民館事業	継続	教育委員会 河東公民館
16				4.1	河東公民館管理運営事業	継続	教育委員会 河東公民館
17				4.1	河東地域スポーツ事業負担金	継続	教育委員会 河東公民館

※人口減少対策に資する事業を「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

- 基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり
- 基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出
- 基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり
- 基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 子どもと子育て家庭を支える地域づくり					
1	事業名	生涯学習推進事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	本市の生涯学習の拠点として、様々な生涯学習の推進に関する事業を稽古堂市民講座として実施し、利用者のニーズに対応して学習の場と人材の育成、情報提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	3,526	3,526
			所要一般財源	3,526	3,526
			概算人件費	46,251	46,251
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	「出前講座」や「地域教育コーディネーター派遣事業」により、地域教育力の向上や地域コミュニティ活性化を図るとともに、生涯学習総合センターの窓口で学習相談に応じるなど、学習者への支援を継続してきた。また、高校、大学といった教育機関や企業、地域団体などと連携し、それぞれの強みを活かした講座・事業を実施することにより、市民の多様な学習ニーズに応えてきた。さらに、「生涯学習講座」などを通して、地域活動や学習活動に主体的に取り組む人材育成に努めてきた。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	少子高齢化社会の進行や、個人の生活環境や価値観が多様化している中で、市民が主体的に学習していくことができるよう、学習者のニーズに応じた学習機会や場をどのように提供していくことができるかが課題となっている。また、地域コミュニティの希薄化が大きな課題となっており、学習活動を通じた世代間の交流や地域の活性化に向け、これまで以上に地域社会との連携・協働が必要となっている。 令和7年度より、早乙女貢文化振興基金を活用し、講座を開設していく。			
2	事業名	生涯学習総合センター管理運営費		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	公民館と図書館、多目的ホール・市民ギャラリーを備えた複合施設の機能を活かし、利用者の意見や要望などを踏まえ、より利用しやすい環境を整えるため適切な管理運営に努めていく。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	224,004	235,274
			所要一般財源	186,770	216,944
			概算人件費	28,514	28,514
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・施設整備について、計画的な管理のもと、維持管理経費の抑制と平準化を図ってきた。 ・利用者の要望などを踏まえ、より利用しやすく快適な学習環境を維持してきた。 ・脱炭素先行地域推進の観点から、照明のLED化、電気自動車の導入、太陽光発電パネルの設置を進めてきた。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立ち始めていることから、利用者の安心安全な利用に支障がないよう適切な施設管理に努めていく。 ・定期的な点検等により適正な管理を行うとともに、公共施設保全計画に基づき、優先順位をつけながら必要な改修等を行い施設設備の長寿命化に取り組んでいく。			
3	事業名	中央公民館神指分館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	146	146
			所要一般財源	146	146
			概算人件費	3,311	3,311
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・地元住民や各種講座参加者の声を大切にしながら、申込者の抽選を行うなど多くの参加希望者を得て、事業を計画・展開している。 ・地域の自主性を育み、住民相互の交流を図るため、地域の実行委員会と共催で、住民参加と発表機会となる「神指地区文化祭」を開催している。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・地域コミュニティ活性化のためにも、神指地区住民の参加促進を図っていく必要がある。 ・事業懇談会をはじめ、多方面からの意見を参考にし、神指地区ならではの特色ある事業実施に取り組んでいく。			

4	事業名	中央公民館神指分館管理運営費事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	中央公民館神指分館の施設管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	7,765	7,765
			所要一般財源	7,765	7,765
			概算人件費	6,725	6,725
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度 日本間カーテン取替 令和4年度 会議室カーテン取替、日本間・会議室照明LED化工事 令和5年度 日本間壁紙修繕			
5	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・施設改修等により、利用者に対し、利便性・快適性の提供に努めてきたが、畳、什器類等をはじめとする、老朽化が進んでいる。 ・不具合個所の早急な修理・修繕に努め、利用者が快適に利用できる施設の管理運営に努める。			
	事業名	子ども森維持管理事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	施設利用を通して、子どもたちに自然とふれあう機会を提供し、自然を大切にする気持ちや豊かな感受性を育む。そのため管理人を配置し環境整備のための維持管理を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	2,794	2,794
			所要一般財源	2,794	3,246
			概算人件費	758	758
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・利用者に快適な環境を提供するため、専門知識が豊富な管理人を配置するとともに、サポーター登録制度を設け、管理人とボランティアで草刈り等の維持管理に努めてきた。 ・令和5年度から、「親子でキャンプin子どもの森」を開催した。 ・令和6年度から、現管理人の高齢に伴い、管理人を1名増員し、施設管理を行っている。			
6	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・近年はキャンプやバーベキューなどの多様な利用に供され、個人やグループでの利用件数が大幅に増加しているため、施設のより安全で快適な場の提供に努める必要がある。 ・自然のふれあいの場として、利用者の満足度を高めていくとともに、青少年の自然体験事業などでの活用を進めるため、学校等への利用案内に加え、各種講座の開催や今後の利活用の促進に取り組んでいく。			
	事業名	教育委員会表彰経費		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 教育総務課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	本市の教育の振興発展等に貢献した市民または団体を表彰する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	348	348
			所要一般財源	348	348
			概算人件費	42	42
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	毎年11月3日(文化の日)に、教育の振興・発展に貢献し、その功績が顕著である者を功労賞として、また全国レベルで教育学術、文化芸術、体育等に顕著な成績を修めたものを奨励賞として、教育委員会が表彰を行う。 平成30年度から、11月3日の表彰後に奨励賞の対象となった児童生徒に対し、3月表彰を行うこととした。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	運用方針で定める選考基準に基づき、教育委員会表彰式を実施する。潜在的な候補者が推薦されるよう周知に努めていく。			

施策2 読書活動の推進					
1	事業名	生涯学習情報提供事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 生涯学習総合センター		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民の多様な学習ニーズに応えるため、図書や雑誌及び視聴覚資料の充実を図るとともに、会津図書館がもつ様々なサービスの広報に努める。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	42,831	42,831
			所要一般財源	39,686	39,686
			概算人件費	63,004	63,004
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・市民の要望に応えながら、図書資料等の購入や乳幼児から高齢者までを対象とした図書の整備に努めてきた。 ・読書が困難な方にも図書館を利用いただけるよう障がい者等サービスを行い、利便性の向上を図った。 ・会津若松市デジタルアーカイブで、デジタル化・テキスト化した貴重資料をインターネット公開し、図書館サービスの充実を図った。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・市民の多様な学習ニーズやリクエストに応えながら図書資料の充実に努めていく。 ・読書バリアフリー法に対応した図書資料の提供及び障がい者等サービスの広報に努めるとともに、文字拡大や音声読み上げ機能のある電子図書館の導入について、引き続き、研究していく必要がある。 ・早乙女貢文化振興基金を活用し、会津若松市デジタルアーカイブで公開するコンテンツの充実を図り、学校の授業でも活用されるよう広報に努めていく。			

施策3 地域における社会教育の推進					
1	事業名	北公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	623	623
			所要一般財源	623	623
			概算人件費	9,473	9,473
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・地域伝統の「ものづくり」や時代の変化に応じたニーズ等を反映した講座の開催など、地域に根ざした生涯学習活動を実施してきた。 ・「北地区文化祭」や「永和地区地域づくり協議会」等の開催や公民館だよりの発行、地域の各種会議への参加による地域との情報共有とコミュニティの活性化に努めてきた。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・人口減少、少子高齢化が急速に進む中で、地区公民館が活動の拠点となり地域コミュニティを維持、発展させていくことで地域課題の解決を図る必要がある。 ・時代の変化に合った事業の見直しを行い、地域の特性を生かした魅力ある公民館事業を積極的に実施するとともに、各種団体や住民参画による事業を推進していく。			
	事業名	北公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北公民館		次年度方針	継続
2	概要 (目的と内容)	北公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	12,178	17,998
			所要一般財源	12,178	11,298
			概算人件費	9,473	9,473
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度 1階会議室照明器具改修工事、1階男子トイレ改修工事 令和3年度 電話設備改修工事 令和4年度 網戸設置工事、屋外掲示板等改修工事、 高圧受電設備改修工事、2階女子トイレ改修工事 令和5年度 耐震改修工事、ボイラーバーナ部改修工事 令和6年度 照明器具LED化工事(施設の一部)			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・昭和55年開館から40年以上経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう公民館が連携し作成した年次計画に基づき照明器具LED化工事等の施設整備を進めていく。			
	事業名	南公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 南公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習活動の機会提供及び自発的な学習活動の援助や情報の収集・提供を図る。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	350	350
			所要一般財源	350	350
			概算人件費	11,367	11,367
3	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・青少年を対象にフィールドでの自然体験・会津の伝統工芸に触れる「みなこー夢広場」や、地域住民同士の交流を深める「ふれあうよろずカフェ」(旧「よろずお楽しみ会」)などの講座を開催。 ・地域との共催事業として、地区文化祭などの運営協力を行う。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・引き続き住民の学習ニーズを把握しながら、少子高齢化など地域課題を踏まえた事業を実施し、個々の生きがいづくりや地域の活性化につなげる。			

4	事業名	南公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 南公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	南公民館の施設の維持管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	13,951	55,345
			所要一般財源	10,289	22,045
			概算人件費	4,888	4,888
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和3年度 1階屋上防水改修工事、1階男子トイレ改修工事 令和4年度 キュービクルフェンス改修工事、合併処理浄化槽水中プロア改修工事 令和5年度 非常放送設備改修工事、浄化槽第一ばっ気槽改修工事 令和6年度 照明器具LED化工事(施設の一部)、1階廊下床下点検口改修工事			
5	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・昭和56年4月の開館から40年以上経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。 ・多くの方々の利用に供するため、日頃より職員による目視も含めた点検を行いながら施設利用に支障が出ないよう必要な改修を行い、利用者が活動しやすい環境を整備する。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき駐車場整備工事、照明器具LED化工事等の施設整備を進めていく。			
	事業名	大戸公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 大戸公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	451	451
			所要一般財源	451	451
			概算人件費	9,473	9,473
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・世代を越えた地域住民の学習や活動の拠点となる施設運営に努め、生涯学習の推進を図った。 ・地域課題解決のために設立されたNPO法人大戸まちづくり協議会と連携し、住民参画事業を実施した。 ・大戸まちづくり協議会等の活動拠点として地域住民が気軽に立ち寄れる「集いの場」を提供し地域コミュニティの活性化に努めた。			
6	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・人口減少、高齢化が進むなか、それに伴う様々な地域課題を解決するため、地域活動の拠点としての役割や機能の充実が公民館に望まれている。 ・大戸まちづくり協議会等との連携、協力により地域特性を活かしながら、住民ニーズに寄り添った事業に取り組む。			
	事業名	大戸公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 大戸公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	大戸公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	10,795	16,865
			所要一般財源	10,747	16,817
			概算人件費	9,473	9,473
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度 1階女子トイレ洋式化工事 令和3年度 1階男子トイレ洋式化工事 令和5年度 案内看板設置工事 令和6年度 自動ドア改修工事			
6	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・昭和60年の開館から39年が経過し、建物・設備の経年劣化が進んでいる中で、安全かつ利便性の高い施設環境を整える必要がある。 ・施設や設備の定期的な点検を行い、適切に修繕やメンテナンス等に努めることで、施設の長寿命化を図っていく。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき講堂屋根塗装工事やクロス張替工事等の施設整備を進めていく。			

7	事業名	一箕公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 一箕公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	572	572
			所要一般財源	572	572
概算人件費			4,775	4,775	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	時代の変化に応じた地域ニーズ等を踏まえ、青少年や成人を対象とした講座を継続して実施している。また、四半期ごとに「いっき公民館だより」を発行し、地域との情報共有を行っている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・公民館主体の事業だけでなく、地域住民や事業者との協働による住民参画型事業を行い、地域コミュニティの活性化や地域課題の解決につながる活動を支援していくことが必要である。 ・時代変化に合った事業の見直しを行い、魅力ある事業を開催するとともに、地域の人材を生かした市民協働での事業を推進していく。				
8	事業名	一箕公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 一箕公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	一箕公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	21,730	22,997
			所要一般財源	10,213	10,850
概算人件費			4,775	4,775	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	令和2年度 非常放送・電話設備改修工事ほか 令和3年度 1階女子トイレ改修工事ほか 令和4年度 1階事務室・2階会議室冷暖房改修工事 令和5年度 1階男子トイレ改修工事				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・施設・設備等の経年劣化が進んでおり、利用者の利便性・快適性・安全性を考慮し、施設設備環境の整備を計画的に行う必要がある。 ・今後も適切な施設の管理と改善を行っていく。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき照明のLED化、冷暖房や受電設備の改修等の施設整備を進めていく。				
9	事業名	東公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	501	501
			所要一般財源	501	501
概算人件費			3,789	3,789	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・地域コミュニティづくりや地域の活性化に寄与するため、地域住民との協働による「ひがしカフェ」や「東山地区文化祭」を実施してきた。 ・郷土史教室、クラフト教室などの主催事業により、学習機会と生きがいづくりの提供に努めてきた。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・地域の高齢化が進むなかであって、生きがいづくりとなる事業を、地域との協働により継続していく必要があると認識している。 ・引き続き、地域の団体との協働により、事業を推進していく。 ・受講者のニーズにあった、魅力ある主催事業となるよう検討していく。				

10	事業名	東公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	東公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	11,537	17,687
			所要一般財源	9,420	10,220
			概算人件費	2,842	2,842
10	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・これまで、安全安心に利活用できる施設整備をしてきた。 令和元年度 1階女子トイレ洋式化工事 令和2年度 非常用放送設備アンプ交換工事 令和3年度 1階男子トイレ洋式化工事・高圧受電設備改修工事 令和4年度 照明器具LED化工事(施設の一部) 令和6年度 正面入口自動ドア改修工事			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・昭和63年の開館から30年以上が経過したことによる施設・設備等の経年劣化が進んでいる。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき、照明器具LED化工事、トイレの洋式化等の施設整備を進めていく。			
11	事業名	湊公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 湊公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	353	353
			所要一般財源	353	353
			概算人件費	2,842	2,842
11	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・サギソウ植栽講習会や湊みのりの大学など、世代の興味・関心、地域ニーズを反映した事業として、学習機会の提供に努めてきた。 ・月1回の広報紙発行による情報発信のほか、地区住民との連携を維持できるよう出張公民館による学びの機会の提供に努めている。 ・令和5年6月より、湊町区長会・保健委員会・民生児童委員ほか地区住民との協働による「よってカフェ」を立ち上げ、住民の学びと交流の場の提供に努めている。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・人口減少、少子高齢化が進むなか、公民館が活動の拠点となり地域との協働により、地域コミュニティを維持・発展させ、地域課題の解決につながる活動を支援していくことが必要である。 ・地域特性を生かした魅力ある事業構築に向け、参加者へのアンケート調査等を継続しつつ、地区課題の共有化を図りながら住民参画事業の拡大につなげ、事業の改善を図っていく。			
12	事業名	湊公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 湊公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	湊公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	20,039	13,524
			所要一般財源	8,142	13,524
			概算人件費	1,516	1,516
12	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成28年度 床暖房系統漏水修理・温水管修理 平成29年度 外灯修繕 平成30年度 北側屋根修繕(H25にも修繕の実績あり) 令和4年度 湊市民センター併設に伴う館内改修 令和5年度 屋根塗装等工事 令和6年度 照明器具LED化工事(全館)			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・施設の軽微な修理についてその都度対応してきたが、開館後20年以上が経過し経年劣化に伴う損傷や故障も目立つ状況にある。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、公民館が連携し作成した年次計画に基づき自動ドア装置工事等の施設整備を進めていく。			

	事業名	北会津公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北会津公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	334	334
			所要一般財源	334	334
概算人件費			7,912	7,912	
13	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・実生活に即した教養や学習を中心に、住民の相互交流を図る講座の継続、参加しやすく興味をひく内容への検討・見直しを行ってきた。 ・地域住民との交流、生涯学習の普及のため、「北会津文化祭」の開催や公民館だよりの発行、地域各種会議への参加による地域との情報共有に努めてきた。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・急速な人口減少、少子高齢化が進み、市民の価値観が多様化するなか、市民ニーズに応えた企画立案、工夫による学習機会の提供や、地域コミュニティを維持、発展させていくことが必要であると認識している。 ・地域の方々の自由な居場所づくりに努めるとともに、地域の特性を活かしながら受講者が求める魅力ある事業展開に努める。			
	事業名	北会津公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 北会津公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	北会津公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	12,972	12,972
			所要一般財源	12,763	12,763
概算人件費			3,032	3,032	
14	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・施設や設備面の老朽化が進む中、施設の維持管理に努めてきた。 ・令和3年度 「公共施設再編プラン」により今後の公共施設の在り方が示された。 ・令和4年度に学校教育等に専門的な知識や経験を有する「公民館専門員」を配置し、北会津中学校区地域学校協働本部事業や社会教育事業を推進した。 ・令和4年度 公民館の今後の在り方について庁内関係部署による協議を開始した。 ・令和5年度 公共施設再編に係る関係部署による会議を継続して開催した。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・昭和46年の開館から50年以上経過する施設であり、施設、設備、器具等の老朽化により、今後も必要最小限の修繕を行う必要がある。 ・利用者の安全安心、利便性に配慮した施設の適正な維持管理に努めるとともに、耐震診断の結果や公共施設等総合管理計画、公共施設再編プラン等を踏まえ、社会教育及び地域活動の拠点となる施設整備に向け、様々な手法を検討する。			
	事業名	河東公民館事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 河東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	市民に対する多様な学習機会の提供及び自発的な学習活動の支援や情報の提供を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	623	676
			所要一般財源	623	676
概算人件費			8,189	8,189	
15	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・親子体験教室などの少年教育、さらには健康や趣味の講座、郷土の文化や歴史を学ぶ講座、ICT講座などをはじめとする成人教育等の主催事業のほか、地域ニーズを反映しながら幅広い年齢層に対応できる事業に取り組んできた。 ・地域団体との連携により、各種スポーツ大会や文化産業祭、町民運動会等を長年に渡って実施し、地域住民の生涯学習の普及および健康の増進、地域親睦を図ってきた。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・市民のニーズや価値観は多様化しており、生涯学習を支援するためには、地域住民の学習ニーズを的確に捉えた上での講座の開催が必要である。 ・参加者アンケートや公民館事業懇談会からの意見を反映させながら、学習ニーズを捉えた講座等を開催していく。 また、気軽に集い、学び、作る、知ることができる場が公民館であることから、学習情報収集や集いやすい場所の提供に努める。			

16	事業名	河東公民館管理運営事業		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 河東公民館		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	河東公民館の施設管理等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	21,273	21,686
			所要一般財源	21,120	21,537
			概算人件費	32,766	3,276
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・施設や設備面の老朽化が進む中、施設の維持管理に取り組んできた。 ・令和3年度に学校教育等に専門的な知識や経験を有する「公民館専門員」を配置し、河東地区地域学校協働本部事業や社会教育事業を推進した。 ・令和3年度「公共施設再編プラン」により公共施設の在り方が示された。 ・令和4年度 公民館の今後の在り方について庁内関係部署による協議が開始された。 ・令和5年度 公民館利用登録団体と公民館の在り方に関するワークショップを開催。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・昭和51年の開館から長い年月が経過し、施設、設備等の老朽化が進む中、移転を考慮しながら安全性に配慮した必要最小限の修繕を行っていく必要がある。 ・利用者の高齢化が進む中、安全性や利便性に配慮した施設の維持管理を行いながら、耐震診断の結果や公共施設等総合管理計画、公共施設再編プラン等を踏まえ、地域の社会教育及び地域活動の拠点となる施設整備を検討する。			
	事業名	河東地域スポーツ事業負担金		法定／自主	自主
	担当部・課	教育委員会 河東公民館		次年度方針	継続
17	概要 (目的と内容)	河東地区体育連盟と河東公民館の共催により町民運動会、町内一周駅伝競争及び各種競技種目10大会(合計12事業)の実施を通して地域住民の健康増進と地域コミュニティの醸成を図る。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)
			事業費	600	600
			所要一般財源	600	600
			概算人件費	1,304	1,304
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	河東地域においては、旧河東村の時代から公民館と協働で社会体育事業を展開し、地域住民の健康意識の高揚、地域コミュニティの維持・活性化など、地区体育連盟の果たす役割が重要視され、現在に至るまでまちづくりに大きな役割を果たしてきた。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	・体育連盟の自主財源の確保に努めるとともに、今後においても各種大会や地域イベント等の実施環境を維持するためには継続した財政支援が必要である。 ・本事業により、住民の健康増進や世代を超えた交流が図られ、地域活性や災害時の共助にも結び付いており、今後も体育連盟と公民館との協働により事業を継続していく必要がある。			